

令和4年予算審査特別委員会会議録

1. 日 時 令和4年3月11日（金）
2. 場 所 市役所本庁舎4階 大委員会室
3. 付託事件 日程第1 次期決算・予算審査に引き継ぐ内容について
日程第2 予算審査資料の見直しについて
4. 出席委員 小田川 敦子 委員 長・岡田 繁 副委員長
岩田 典之 委員・竹内 陽子 委員
柴田 圭子 委員・石井 恵子 委員
植村 博 委員・伊藤 仁 委員
広沢 修司 委員
5. 欠席委員 長谷川 則夫 委員
6. 説明のための出席者
なし
7. 会議の経過 別紙のとおり
8. 議会事務局 局 長 石井 治夫
主 査 今井 好美
主 事 小原 陽子

委員長の挨拶

○石井治夫議会議務局長 本会議に引き続きまして、大変御苦勞さまでございます。

それでは、会議に先立ちまして、小田川委員長より御挨拶をお願いします。

○小田川敦子委員長 皆さん、こんにちは。特別委員会の予算審査では、積極的な御意見等いただきまして、御協力ありがとうございました。

本日の会議は、次期の予算・決算委員会に引き継ぎをしたらいい内容を検証したい、その検証作業を行いたいと思います。忌憚のない御意見のほどよろしく願いいたします。

以上です。

○石井治夫議会議務局長 それでは、委員会につき、議事等につきましては、小田川委員長にお願いいたします。

会議の経過

開会 午後 1時30分

○小田川敦子委員長 ただいまの出席委員は9名です。委員会条例第16条の規定により、定足数に達しておりますので、これより予算審査特別委員会を開会いたします。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりです。

初めに、マスク着用での発言に際しては、マイクによる音声認識に配慮いただき、明瞭に発声いただきますようお願いいたします。

なお、室内の換気のため、扉、窓を開放しておりますので、御了承ください。

それから、本日3月11日ということで、東日本大震災の黙禱を市役所のほうで行います。この後14時35分に一度予鈴が鳴りまして、その後46分に黙禱があります。この委員会でも同じように黙禱の時間を捧げたいと思いますので、ぜひ御協力をお願いいたします。

(1) 次期決算・予算審査に引き継ぐ内容について

○小田川敦子委員長 それでは、これから日程に入ります。

日程第1、次期決算・予算審査に引き継ぐ内容についてを検討いたします。

この検討項目については、3月1日に開催した予算審査特別委員会協議会において、次期決算・予算審査に引き継ぐ、申し送ることが決定していることから、その内容について検討いたします。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時32分

再開 午後 4時14分

○小田川敦子委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開します。

決定事項の確認について、岡田副委員長、お願いします。

○岡田 繁副委員長 では、まとめます。

まず、決算書と予算書のスタイルを同一にできないかというお話が一番最初にありましたけれども、この結論は出ておりませんが、これは無理だということによろしいんですね。

どうぞ。

○石井治夫議会議務局長 タブレットでの見方ということが確認できましたので、そこは、決算書、見開きのページで横に見えるようにデータを送信すれば解決したものと捉えております。

以上です。

○岡田 繁副委員長 分かりました。では、決算書と予算書のスタイルは同一にする方向で進みたいと思います。

次、紙ベースかデータベースかということで、やはり紙ベースがよいということで、正しいデータも必要だということです。

それから、資料に関してはデータでオーケーと。

それから、特別委員会はこのスタイルがよかったということ。

それから、半数の10人が決算と予算に関われないのはどうかなという意見もありました。これに対しての解決というのは、特になかったですね。

それから、予算をやり、決算をやるほうがよいのではという案も出ておりました。ただし、来年度に関しては、また決算、予算ということになります。だから、その後にどうなるかということです。

それから、来年度のメンバーは決まっているので、来年の3月に全員体験をして、再度ミーティングをしたらどうか、やり方を決めたらどうかということです。

それから、設置期間の問題があるなということですが、誰が招集するのということで、これに関しては、予算の小田川委員長と決算の広沢委員長が声かけをして皆さん集めてやったらどうかということです。

次に、審査の進め方なんですけれども、総括質疑という言葉は使わないでほしいということ。

それから、市民環境経済部と都市建設部所管の質疑は今後も1日で十分だろうと。

それで、今回の4日間、間1日取ってというのはよかったんじゃないかと。これは年間計画にも載せたほうが良いということですね。それと、予備日を設けてくださいということです。

それから、執行部の説明が資料としてあれば時間の短縮にもなるんじゃないかというような意見もありました。

それと、資料の見直しについてなんですけれども、まず、資料の見直しの目的は何なんだという声もありました。ただし、個々で必要な資料は違うんで、その辺も考慮して考えたほうがいいんじゃないかということとか、それと、柴田委員が出した、資料に予算書の該当ページを記載したらいいんじゃないか、それと、しかも、順番どおりに作ってくれたらいいんじゃないかということ。

それから、新規の事業やシステムの導入は内容説明と積算内容を資料とするという意見が出ております。

それと、あとは、デジタルをうまく活用した資料があればいいということ。

それから、今回の、最後に石井委員から出ていた、真ん中のページ数は非常に見にくかったと、これは要検討であると。

以上が、今日のまとめです。

○石井恵子委員 ありがとうございます。

○小田川敦子委員長 柴田委員。

○柴田圭子委員 執行部の説明については、説明の工夫をしていただきたいということを申し入れるということだったかなと思います。

○岡田 繁副委員長 説明の改善ですよ。

○柴田圭子委員 説明の工夫、改善じゃなくて工夫ですね、改善と言っちゃうと何かあれかもしれない。

○岡田 繁副委員長 じゃあ、工夫だ。

○小田川敦子委員長 私ちょっと1つ気になったのが、冒頭の予算資料と決算資料を統一するところなんですけれども、デジタルで見たときに見開きで見えるから、それでもう問題解決というふうな認識だったんですけれども、決算資料を変えるという話じゃなかったっけ。

○伊藤 仁委員 いいですか。今本当に縦書きと横書きになっているのが、これからもずっとその形態で行くのかは執行部にちょっと確認していただきたいなとは思うんですけれども。

○小田川敦子委員長 そうですね、そこ確認する、報告するということでしたね。そうでした。

じゃあ、ほかによろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○小田川敦子委員長 以上、本日の協議の内容を確認しました。

これで、以上で本日の日程は終了いたしました。

よって予算審査特別委員会を閉会いたします。

長時間にわたり慎重なる御審議を賜りまして、ありがとうございます。お疲れさまでございました。

会議としては本日が最後となります。ありがとうございます。

閉会 午後 4時20分